

4 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

(ア) 男女別在籍者数 (平成 26 年 5 月 1 日現在)

性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
男	97	95	88	105	385
女	57	71	46	52	226
計	154	166	134	157	611

※休学者の数は在籍者の内数

(イ) 出身地別在籍者数 (平成 26 年 5 月 1 日現在)

出身地		1年次	2年次	3年次	4年次	計
山形県内	村山	42	33	34	45	154
	最上	14	6	8	7	35
	置賜	22	13	10	28	73
	庄内	38	63	43	39	183
	小計	116	115	95	119	445
山形県外	青森県	3	3	3	3	12
	岩手県	10	16	17	13	56
	宮城県	9	15	3	6	33
	秋田県	14	12	13	13	52
	福島県	1	2	3	2	8
	神奈川県	1	1	0	0	2
	山梨県	0	0	0	1	1
	新潟県	0	2	0	0	2
	小計	38	51	39	38	166
合計		154	166	134	157	611

(ウ) 退学・除籍・休学の状況 (平成 25 年度) (平成 26 年 5 月 1 日現在)

学年	1年次		2年次		3年次		4年次		計		累計
退学者	8		6		2		6		22		268
除籍者	1		1		0		1		3		22
休学者	前期 0	後期 1	前期 0	後期 1	前期 0	後期 1	前期 2	後期 3	前期 2	後期 6	—

②公益学研究科

ア 男女別在籍者数（平成 26 年 5 月 1 日現在）

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	4	7	1	1	2	15
女	3	1			1	5
計	7	8	1	1	3	20

イ 出身地別在籍者数（平成 26 年 5 月 1 日現在）

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年
山形県内	村山	1			1	
	最上	2	1			
	置賜					
	庄内	3	7			2
	小計	6	8	0	1	2
山形県外	東京			1		
	栃木					1
	小計	0	0	1	0	1
国外	中国	1				
合計		7	8	1	1	3

ウ 退学・休学の状況（平成 25 年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	計
退学者	1	0	1
除籍者	0	0	0
休学者	0	1	1

2013年度時間割

平成25年4月1日

(2) 公認学履修科目 ○前期セメスター

学年	月				火				水				木				金				土									
	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室		
1時限 9:00~10:30	1年以上	1101 英語Ⅱ(リスニング)⑤	スチュアート	202	2101 英語Ⅰ(基礎英語)③	本間ひろみ	202	3101 公益概論	オムニバス	301	4101 英語Ⅱ(リスニング)①	佐藤 則子	203	5101 英語Ⅰ(基礎英語)⑦	栗本 昌	203														
	2年以上	1102 英語Ⅱ(リスニング)⑦	香井マリ	206	2102 中国語Ⅰ①	洪谷 周二	203				4102 英語Ⅱ(リスニング)④	杉山 肇	204	5102 中国語Ⅲ③	洪谷 周二	202														
	3年以上	1103 英語Ⅰ(基礎英語)④	佐藤 則子	203	2103 情報リテラシーⅠ⑦	高橋 進	103				4103 情報リテラシーⅠ②	山本 直美	204	5103 情報リテラシーⅠ①	広瀬 雄二	204														
2時限 10:40~12:10	1年以上	1104 西洋史a	遠山 茂樹	103	2104 西洋史a	遠山 茂樹	103				4104 情報リテラシーⅠ②	山本 直美	205																	
	2年以上	1105 福祉サービスの組織と経営<基本>	香井マリ	206	2105 情報リテラシーⅠ⑦	高橋 進	103				4105 理論経済学<基本>	松本 肇	103	5104 行政学<基本>	相田 明子	103														
	3年以上	1106 環境経済学<基本>	松本 肇	105	2106 相談援助の理論と方法Ⅰ<応用Ⅰ>	香井 孫久	104				4106 共創の技法<基本>	山本 肇	105	5105 障害者に対する支援と障害者自立支援制度<基本>	洪谷 周二	105														
3時限 13:00~14:30	1年以上	1201 英語Ⅱ(リスニング)③	本間ひろみ	207	2201 中国語Ⅰ②	呉 尚峰	210	3201 任内の文化	オムニバス	301	4201 英語Ⅱ(リスニング)②	佐藤 則子	203	5201 中国語Ⅰ①	洪谷 周二	202														
	2年以上	1202 英語Ⅱ(リスニング)⑥	香井マリ	206	2202 中国語Ⅰ③	本間ひろみ	203				4202 情報リテラシーⅠ⑥	山本 直美	204	5202 英語Ⅰ(基礎英語)②	本間ひろみ	207														
	3年以上	1203 英語Ⅰ(基礎英語)⑤	佐藤 則子	203	2203 英語Ⅰ(基礎英語)①	高橋 進	104				4203 情報リテラシーⅠ⑩	山本 直美	205	5203 英語Ⅰ(基礎英語)⑥	栗本 昌	203														
4時限 14:40~16:10	1年以上	1204 情報リテラシーⅠ⑨	竹村 亨	205	2204 情報リテラシーⅠ③	高橋 進	104				4204 中国語Ⅱ②	洪谷 周二	202	5204 基礎の生態学	五十嵐敬司	103														
	2年以上	1205 英語Ⅵ(スピーキング)④	ローウェン	209	2205 科学技術と安全	村山 秀樹	104				4205 英語Ⅴ(ライティング)①	松田 肇	212	5205 英語Ⅵ(スピーキング)①	香井マリ	206														
	3年以上	1206 英語Ⅵ(スピーキング)⑥	スチュアート	202	2206 相談援助の理論と方法Ⅰ<応用Ⅰ>	香井 孫久	104				4206 更生保護制度<応用Ⅰ>	山本 肇	211	5206 基礎プログラミングⅠC(7&8&9)	山本 肇	102														
5時限 16:20~17:50	1年以上	1207 中国語Ⅴ③	呉 尚峰	208	2207 英語Ⅴ(ライティング)②	松田 肇	212				4207 基礎プログラミングⅠD(5&6)	山本 肇	203	5207 数量情報処理	西口 宏美	204														
	2年以上	1208 相談援助の理論と方法Ⅰ<応用Ⅰ>	小関 久恵	104	2208 中国語Ⅵ③	松田 肇	209				4208 中山間・麓地帯域論<応用Ⅰ>	山本 肇	205	5208 エコ・ビジネス論<応用Ⅱ>	山本 肇	104														
	3年以上	1210 中国語Ⅵ①	洪谷 周二	201	2209 基礎プログラミングⅠA(1③)	西村まどか	101				4209 特別プログラムはエネルギー経済・政策論a)	山本 肇	207	5209 空間形成と地域政策	山本 肇	105														
6時限 18:00~19:30	1年以上	1209 社会福祉援助技術論Ⅰ(2007~8)	小関 久恵	104	2210 経済学史<応用Ⅱ>	三島 善之	103	3202 英語Ⅴ(ライティング)③	松田 肇	212	4210 社会科・公民科指導法Ⅰ	尾藤 洋一	103	5210 農業の国際支援<応用Ⅱ>	渡部 敏人	103														
	2年以上	1210 相談援助実習指導Ⅰ①<応用Ⅱ>	鎌田 剛	207	2211 相談援助実習指導Ⅰ②<応用Ⅱ>	小関 久恵	201	3203 中国語Ⅵ②	松田 肇	209	4211 公益事業論<応用Ⅱ>	尾藤 洋一	110	5211 フランシイズ・フランチャイズ<応用Ⅰ>	栗本 幸弘	105														
	3年以上	1211 相談援助実習指導Ⅰ③<応用Ⅱ>	竹原 幸太	211	2212 相談援助実習指導Ⅰ③<応用Ⅱ>	竹原 幸太	211	3204 TOEIC(上級)	栗本 昌	203	4212 応用心理学b	尾藤 洋一	103	5212 農業の国際支援<応用Ⅱ>	渡部 敏人	103														

○1年生は上段のみ対象。※印は教職課程の学生のみ履修可。★印はリメディアル科目。アンダーラインがあるものは、再度履修者が対象。○(xxxx)内の数字は、入学年度
注)1年生の情報クラス:英語①~⑦⇒①~⑦クラス 中国語①~③⇒⑧~⑩クラス
注)2年生の情報クラス(A~Dクラス):英語①・③⇒A 英語②・④・中国語③⇒Bクラス 英語⑥・中国語①・②⇒Cクラス 英語⑤・⑦⇒Dクラス

2013年度時間割

平成25年9月24日

〇後期セミナー

1 年 以上	火				水				木				金				土				
	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	
1時限 9:00~ 10:30	1151	英語Ⅳ(スピーキング)①	ローウェン	202	2151	英語Ⅲ(リーディング)②	香井マリ	206	3151	山形地域論	オムニバス	301	4152	英語Ⅳ(スピーキング)⑤	香井マリ	206	5151	英語Ⅲ(リーディング)⑤	栗本 昌	203	
	1152	英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート	203	2152	中国語Ⅲ①	渡谷 周二	202					4153	情報リテラシーⅡ②	廣瀬 美紀	204	5152	英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート	202	
	1153	英語Ⅳ(スピーキング)⑦	香井マリ	206	2153	情報リテラシーⅡ④	廣瀬 美紀	204					4154	情報リテラシーⅡ⑤	山本 直美	205	5153	中国語Ⅲ③	渡谷 周二	201	
	1154	英語Ⅲ(リーディング)③	佐藤 則子	201	2154	情報リテラシーⅡ⑦	武市 義弘	205									5154	情報リテラシーⅡ①	広瀬 周二	204	
	1155	底辺系社会と地域デザイン<応用Ⅰ>	古山 隆	103	2155	地方自治論<応用Ⅰ>	和田 明子	103	3152	ビジネス中国語	福山 孝男	209	4151	英語Ⅵ(リーディング)⑤	佐藤 則子	203	5155	資源リサイクル論<応用Ⅰ>	古山 隆	105	
					2156	地域福祉の理論と方法Ⅱ<基本>	熊井 孫久	105	3153	権利擁護と成年後見制度<応用Ⅰ>	庄田 敬明	201	4155	公益政策<応用Ⅰ>	オムニバス	103	5156	政策マネジメントと公益<基本>		103	
					2157	人間行動と安全<応用Ⅰ>	神田 直弥	104	3154	情報交換概論	西村まどか	102	4156	持続的農業概論<基本>		105	5157	相談援助の理論と方法Ⅲ<応用Ⅰ>	佐野 治	104	
					2158	地域福祉演習Ⅱ<応用Ⅱ>	武田・澤田	207						4157	情報処理特講Ⅱb	神田 直弥	209	5158	※社会科・公産科指導法Ⅱ	中本 祥弘	210
					2159	情報処理特講Ⅱa	西村まどか	102						3155	公益概論Ⅱ(2007~8)	オムニバス	301	5159	英語Ⅲ(リーディング)④(2007)	栗本 昌	203
																		5161	社会福祉援助技術論Ⅲ(2007~8)	佐野 治	104
2時限 10:40~ 12:10	1251	英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン	202	2251	英語Ⅲ(リーディング)⑥	松田 善	212	3251	英語Ⅲ(リーディング)⑦	松田 善	212	4251	情報リテラシーⅡ⑥	廣瀬 美紀	204	5251	英語Ⅲ(リーディング)④	栗本 昌	203	
	1252	英語Ⅳ(スピーキング)⑥	香井マリ	206	2252	中国語Ⅲ②	渡谷 周二	202	3252	森林の保全と共生	泉 尚浩	301	4252	情報リテラシーⅡ⑩	山本 直美	205	5252	中国語Ⅳ①	渋谷 周二	201	
	1253	情報リテラシーⅡ⑨	竹村 学	205	2253	中国語Ⅲ③	武市 義弘	205					4253	英語Ⅳ②	佐藤 則子	203					
					2254	情報リテラシーⅡ③	武市 義弘	205					4254	英語Ⅲ(リーディング)①	佐藤 則子	205					
					2255	情報リテラシーⅡ⑤	神田 直弥	204													
					2256	英語Ⅵ(リスニング)②	本間 ひろみ	203	3253	英語Ⅵ(リスニング)④	栗本 昌	203	4255	英語Ⅵ(リーディング)④	松田 善	212	5253	英語Ⅵ(リスニング)③	スチュワート	202	
					2257	中国語Ⅲ④	福山 孝男	209	3254	保健医療サービス<応用Ⅰ>	明部 誠也	201	4256	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ<基本>	斎藤 幸	206	5254	英語Ⅵ(リーディング)①	本間 ひろみ	207	
					2258	基礎プログラミングⅡA(①③)	西村まどか	102	3255	中国語Ⅳ②	福山 孝男	209	4257	基礎プログラミングⅡD(⑤⑥)	神田 直弥	101	5255	基礎プログラミングⅡC(⑦⑧⑨)	広瀬 周二	101	
					2259	経済史<応用Ⅰ>	三島 善之	103					4258	※生徒・進路指導論	廣瀬 美紀	209					
													4259	特別プログラム(エネルギー・経済・政策論)	山家 公雄	207					
3時限 13:00~ 14:30	1259	ニュージーランドの政治・行政<応用Ⅱ>	和田 明子	105	2260	相談援助実習指導Ⅱ①<応用Ⅱ>	鎌田 剛	207	3256	医療福祉論(2007~8)	明部 誠也	201	4260	家族と地域生活<応用Ⅱ>	伊藤真知子	104					
	1260	英語Ⅶ(リスニング)④(2009)	スチュワート	203	2261	相談援助実習指導Ⅱ②<応用Ⅱ>	小関 久恵	206					4261	哲学と倫理	竹原 幸太	211	6262	※教職実践演習	オムニバス		
					2262	相談援助実習指導Ⅱ③<応用Ⅱ>	竹原 幸太	210					4262	老人福祉論Ⅱ(2007~8)	斎藤 幸	206					
					2263	相談援助実習指導Ⅱ④<応用Ⅱ>	佐野 治	211													
					2265	英語Ⅲ(リーディング)④(2007)	松田 善	212													
					2351	社会学	渡辺 朝雄	105	3351	人文地理学b	松山 薫	105	4351	日本史b	三原 啓子	105					
					2352	アソビをわらう	高橋 英彦	105	3352	TOEIC(中級)	栗本 昌	203	4352	文学を楽しむ	泉 尚浩	104					
					2353	英語Ⅶ(リスニング)①	神田 直弥	203	3353	英語Ⅱ	佐々木理美	201	4353	Intensive ReadingⅡ	松田 善	212	5351	※教育心理学	廣瀬 美紀	209	
					2354	英語Ⅶ(リーディング)①	神田 直弥	203	3354	英語Ⅶ(リスニング)④	渡谷 周二	208	4354	英語Ⅶ(リーディング)③	佐藤 則子	203	5352	英語Ⅶ(リスニング)⑥	栗本 昌	203	
					2355	基礎プログラミングⅡB(②④⑦)	西村まどか	102	3355	中国語Ⅳ①	渡谷 周二	208	4355	中国語Ⅳ①	渡谷 周二	202	5353	英語Ⅶ(リーディング)②	本間 ひろみ	207	
4時限 14:40~ 16:10	1354	※教育入門	川野 孝	203	2356	基礎プログラミングⅡB(②④⑦)	西村まどか	102	3357	トップセミナー(隔週)	渡辺 高橋	103	4356	情報処理演習b	山本 直美	205	5354	※利用者に対する支援と生活保護制度<基本>	澤田みさ子	103	
	1356	高齢社会と健康<基本>	平松 謙	103	2357	中国語Ⅳ②	福山 孝男	209					4358	特別プログラム(再生可能エネルギー論)	山家 公雄	207	5355	Intensive TOEIC	香井マリ	206	
																	5356	情報とコンピューティング	広瀬 周二	101	
					1357	社会福祉原論Ⅱ(2007~8)	熊井 孫久	104	3358	相談援助演習Ⅲ<応用Ⅱ>	小関 久恵	211	4359	※日本地誌	松山 薫	209					
					1358	実用英語(SPI)	佐藤 則子	201	3359	福祉財政学(2007~8)	金子真理子	206	4360	公益法人論<応用Ⅱ>	出井 徳夫	201	5357	生活環境計測法<応用Ⅱ>	大岩 敬男	104	
													4361	農業・食糧論<応用Ⅱ>	泉 尚浩	301	5358	公的扶助論(2007~8)	澤田みさ子	103	
																	5359	ロシア語Ⅳ(2008)	金子真理子	202	
					1451	社会保障Ⅱ	明部 公一	301	2451	基礎の自然科学(生物)	平松 謙	105	3451	会計学基礎論	原田 清美	104	4451	法と現代社会	内藤 慎	103	
					1452	自然地理学b	澤 祥	105	2452	心理学	佐野 治	301									
					1453	English PresentationⅡ	香井マリ	206										5451	世界の政治経済	杉山 肇	301
5時限 16:20~ 17:50	1454	経営財務論<応用Ⅰ>	水田 健輔	103	2453	地域共創と公益<基本>	伊藤 真知子	105	3452	中国語検定対策b	渋谷 周二	208	4452	相談援助の理論と方法Ⅳ<応用Ⅰ>	竹原 幸太	211	5453	社会調査論<基本>	渡辺 伊藤	103	
	1455	まちなか未来論<応用Ⅰ>	遠井 孝	103	2454	相談援助演習Ⅰ①<応用Ⅰ>	小関 久恵	206	3453	韓国語4	佐々木理美	201	4453	環境サイエンスと公益<基本>	オムニバス	104	5454	アントレプレナーシップ演習Ⅱ<応用Ⅰ>	栗本 昌	203	
	1456	社会情報処理	広瀬 周二	102	2455	情報処理特講Ⅱc	広瀬 周二	202	3454	ロシア語4	金子真理子	206	4454	国際ビジネス論<応用Ⅰ>	森 彰夫	301					
					2456	統計学<基本>	市田 光	103	3455	トップセミナー(隔週)	渡辺 高橋	103									
					2457	※特別活動指導論	経塚 浩郎	210	3456	※体育と健康(通年)	山岸 文彦	206									
					1458	社会保障論Ⅱ(2007~8)	明部 公一	301													
6時限 18:00~ 19:30	1551	基礎の自然科学(化学)	市田 光	実験室	2551	数学的考え方	西村まどか	102					4455	公共経済学<応用Ⅰ>	栗本 昌	203	5455	基礎の自然科学(物理)	山本 裕樹	実験室	
					2552	少子高齢社会の福祉課題	オムニバス	105					4456	共生社会と人権<基本>	三原 啓子	105	5522	教育学	三原 啓子	104	
					2553	観光デザイン論<応用Ⅰ>	渡辺 朝雄	103													
					2554	キャリアと人生	小関 久恵	204													
					2555	相談援助演習Ⅰ②<応用Ⅰ>	小関 久恵	206													

〇1年生は上段のみ対象。※印は教職課程。アンダーラインがあるものは、再履修者が対象。 ○(xxxx)内の数字は、入学年度
 注)1年生の情報クラス:英語①~⑦⇒①~⑦クラス 中国語①~③⇒⑧~⑩クラス
 注)2年生の情報クラス(A~Dクラス):英語①・③⇒A 英語②・④・中国語③⇒Bクラス 英語⑦・中国語①・②⇒Cクラス 英語⑤・⑥⇒Dクラス

(3) 公益学研究科履修科目

2013年度 大学院時間割

時限	月				火				水				木				金				土			
	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室
1時限 9:00 ~ 10:30	前	演習Ⅱ	和田 明子	酒田	前				前				前				前	公益学研究特殊講義g(地域福祉)	照井 孫久	22	前			
	後	演習Ⅱ	和田 明子	酒田	後				後	演習Ⅰ	吳 尚浩	酒田	後				後				後			
2時限 10:40 ~ 12:10	前				前				前	情報処理論 演習Ⅰ	広瀬 雄二 酒田 204 和田 明子	酒田	前				前	統計学 公益学研究特殊講義g(地域福祉)	山本 裕樹 照井 孫久	21 22	前			
	後				後				後	演習Ⅰ	和田 明子	酒田	後	地域活性化特論b (中山間離島地域) 政策研究特論c (New Public Management)	オムニバス 和田 明子	酒田	後	公益社会デザイン※	オムニバス	ホール	後			
3時限 13:00 ~ 14:30	前				前	演習Ⅰ	吳 尚浩	21	前				前	演習Ⅱ	水田 健輔	酒田	前	公共経営論 公益学研究特殊講義f (地域活性化)	出井 信夫 オムニバス	22 21	前	論文作成法※	オムニバス	21
	後				後				後				後	演習Ⅱ	水田 健輔	酒田	後				後	公益社会デザイン※	オムニバス	ホール
4時限 14:40 ~ 16:10	前	会計学【自由科目】	水田 健輔	酒田	前				前				前	演習Ⅰ	阿部 公一	酒田	前	政策研究特論a (地方財政論)	出井 信夫	22	前	論文作成法※	オムニバス	21
	後				後				後				後	演習Ⅰ	阿部 公一	酒田 206	後				後	公益社会デザイン※	オムニバス	ホール
5時限 16:20 ~ 17:50	前	経済学【自由科目】 ※学部科目名「基礎経済学」	尾身 祐介	酒田	前				前				前				前	政策研究特論d (社会保障・公的年金政策)	阿部 公一	22	前			
	後				後				後				後	障害者福祉論 演習Ⅰ	薄邊 みさ子 神田 直弥	22 酒田	後	公共政策論Ⅱ	阿部 公一	酒田 211	後			
6時限 18:00 ~ 19:30	前	地域デザイン論 公共政策論Ⅰ 地域福祉特論a (地域福祉ネットワーク論)	高谷 時彦 桑名 謹三 照井 孫久	11 酒田 21	前	公会計論 NPO・非営利組織論 演習Ⅰ	水田 健輔 洪川 智明 高谷 時彦	22 21 11	前	演習Ⅰ 演習Ⅰ	渡辺 暁雄 尾身 祐介	22 21	前	福祉政策論 演習Ⅰ	武田 真理子 神田 直弥	22 21	前	基幹統計調査論Ⅰ※ 加工統計基礎論※ 演習Ⅱ 研究指導Ⅱ	桑原 廣美 高橋 睦春 洪川 智明 出井 信夫	21 21 11 22	前			
	後	自治体政策法務論 演習Ⅱ	内藤 悟 照井 孫久	22 21	後	公益ビジネス特論a (社会起業家論) 演習Ⅰ	洪川 智明 高谷 時彦	21 11	後	ソーシャルキャピタル論 演習Ⅰ	オムニバス 渡辺 暁雄	22 21	後	公益組織体会計論 演習Ⅱ	水田 健輔 渡辺 暁雄	21 11	後	基幹統計調査論Ⅱ※ 演習Ⅱ 研究指導Ⅱ	桑原 廣美 洪川 智明 出井 信夫	21 11 22	後			
7時限 19:40 ~ 21:10	前	演習Ⅰ 演習Ⅱ	高谷 時彦 照井 孫久	11 21	前	地域活性化特論d (地域プロジェクト論)	オムニバス	22	前	公共性の社会学	伊藤・渡辺	22	前	演習Ⅰ 演習Ⅱ	武田 真理子 渡辺 暁雄	22 酒田	前	基幹統計調査論Ⅰ※ 加工統計基礎論※ 研究指導Ⅰ	桑原 廣美 高橋 睦春 洪川 智明	21 21 11	前			
	後	地域福祉特論b (福祉サービス評価論) 演習Ⅰ	照井 孫久 高谷 時彦	21 11	後	地域活性化特論a(都市中心市街地) 演習Ⅰ	高谷・温井 武田 真理子	21 11	後	社会調査論	渡辺 暁雄	21	後				後	基幹統計調査論Ⅱ※ 研究指導Ⅰ	桑原 廣美 洪川 智明	21 11	後			

2013年度大学院時間割（期日指定型講義・集中講義）

1 前期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	論文作成法	遠山 茂樹 和田 明子 松田 憲 松山 薫	4/13・4/27・5/11・5/25・6/8・6/22・7/6・7/20 各土曜3～4時限（7/20は3時限のみ）
期日指定	基幹統計調査論Ⅰ	桑原 廣美	4/19・5/10・5/24・6/7・6/21・7/5・7/19・8/2 各金曜6～7時限（8/2は6時限のみ）
期日指定	加工統計基礎論	高橋 睦春	4/12・4/26・5/17・5/31・6/14・6/28・7/12・7/26 各金曜6～7時限（7/26は6時限のみ）
期日指定	特別セミナー（公益法人論）	出井 信夫	6/29(土)・30(日)・7/13(土)・15(月、祝) 10:30～17:40 ※6/29は10:30～16:00

2 夏季集中開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
夏季集中	企業と社会論	中谷 常二	8/9(金)・8/10(土)・8/12(月) 1時限～5時限

3 後期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	公益社会デザイン	オムニバス	9/21・9/28・10/5・10/12・10/19 各土曜2～4時限
期日指定	基幹統計調査論Ⅱ	桑原 廣美	9/27・10/4・10/11・11/1・11/22・12/6・12/20・1/10 各金曜6～7時限
期日指定	特別セミナー（自治体経営実務）	出井 信夫 水田 健輔	10/26・10/27・11/2・11/3 ※昼休み40分 10:00～17:00（10/26は10:00～15:20）

(4) インターンシップ実施状況

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
1	製造業	鶴岡市立荘内病院	1
2		酒田共同火力発電株式会社	1
3		酒田天然瓦斯株式会社	2
4		株式会社大商金山牧場	2
5		日東ベスト株式会社	1
6		前田製管株式会社	1
7		丸松物産株式会社山形工場	1
8		山形パナソニック株式会社	1
9		株式会社山本組	1
10	福祉	一関デイサービスセンター	1
11	金融業	株式会社荘内銀行	2
12		鶴岡信用金庫	2
13	サービス業	温海町森林組合	1
14		株式会社エフエム山形	2
15		荘内電気設備株式会社	1
16		株式会社近畿日本ツーリスト東北酒田営業所	1
17		株式会社コミュニティ新聞社	1
18		一般社団法人 酒田観光物産協会	2
19		出羽商工会	1
20		パレスグランデール	1
21		株式会社山形ランドホテル	2
22		山形県商工会連合会	1
23		株式会社 山形テレビ	1
24	小売業	株式会社八文字屋 みずほ八文字屋	1
25	官公庁	小国町役場	1
26		女川町役場	1
27		上山市役所	1
28		国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所	2
29		寒河江市	1
30		酒田市	4
31		庄内町	2
32		新庄市役所	1
33		鶴岡市役所	2
34		天童市役所	1
35		南陽市役所	1
36		村山市役所	1
37		盛岡市役所	1
38		山形県立図書館	1
39		山形県置賜総合支庁	1
40		山形県庄内総合支庁	1
41		山形県最上総合支庁	1

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
42		山形県村山総合支庁	1
43		山形市役所	1
44		米沢市役所	2
45		株式会社東洋開発	2
46		株式会社永田プロダクツ	2
47	社長 インター ンシップ	秋山鉄工株式会社	1
48		湯野浜温泉 亀や	1
49		株式会社マリーン5清水屋	1
50		NPO法人元気王国	1
51		株式会社東洋開発	1
52		株式会社大商金山牧場	1
53		山形県庄内総合支庁	1
54		株式会社ホテルリッチ酒田	1
55		酒田第一タクシー株式会社	1
56		株式会社 ブルー	2
		合計	73

(5) オフィスアワーの実施状況

2013年度前期オフィスアワー一覧

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
2時限 10:40~12:10							松山 薫	C-3	和田 明子	B-2
3時限 13:00~14:30	平松 緑 水田 健輔 神田 直弥 西村 まどか 森 彰夫	B-5 C-4 F-4 B-4 C-5	伊藤真知子 遠山 茂樹 鎌田 剛 温井 亨 菅井 マリー	F-3 E-5 E-4 G-3 G-4			呉 尚浩 内藤 悟 松田 憲	A-2 C-2 I-4		
4時限 14:40~16:10	尾身 祐介 呉 衛峰 小関 久恵 桑名 謹三	G-1 F-2 H-3 C-1	古山 隆 山本 裕樹	E-1 I-5			出井 信夫 市田 光	A-5 E-6	広瀬 雄二	B-3
5時限 16:20~17:50	阿部 公一	H-5	武田真理子 照井 孫久 竹原 幸太	E-2 F-1 H-4			澤邊みさ子	A-4	三原 容子 杉山 肇	D-2 D-5
6時限 18:00~19:30			三島 憲之	I-3			國眼真理子 渡辺 暁雄	G-5 H-1		

2013年度後期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
2時限 10:40~12:10	西村 まどか 平松 緑	B-4 B-5			三島 憲之	I-3					2時限
3時限 13:00~14:30	和田 明子	B-2	伊藤眞知子 遠山 茂樹 鎌田 剛 温井 亨	F-3 E-5 E-4 G-3			神田 直弥 桑名 謹三 森 彰夫	F-4 C-1 C-5			3時限
4時限 14:40~16:10	呉 衛峰 小関 久恵 松山 薫	F-2 H-3 C-2	古山 隆 山本 裕樹 菅井マリー 武田真理子 照井 孫久 水田 健輔 竹原 幸太	E-1 I-5 G-4 E-2 F-1 C-4 H-4			松田 憲 呉 尚浩 三原 容子	I-4 A-2 D-2 D-2	澤邊みさ子	A-4	4時限
5時限 16:20~17:50	阿部 公一 内藤 悟	H-5 C-2	広瀬 雄二	B-3			渋川 智明 出井 信夫	I-2 A-5			5時限
6時限 18:00~19:30							國眼眞理子 杉山 肇 渡辺 暁雄	G-5 D-5 H-1			6時限

(6) 研究業績調書

職位 氏 名	教授 出井 信夫				
1 専門分野、研究テーマ	第3セクター、公民連携、地方行財政				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 「移行期間終了後における公益 事業の課題と展望」(査読有)	単著	2013年9月1 日号～ 2013年12月 15日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	5回連載 11-14頁 42-58頁 38-52頁 48-62頁 47-54頁	I 指定管理者制度導入後 の自治体出捐公益法人の 概況～(中略)～XIII 公 益ビジネスの公益性と収 益性、XIV「共助社会」「公 益社会」実現のデザイン
「自治体の人事に関する研究— 全国自治体の実態調査結果を中 心に」(査読有)	共著	2013年11月 ～2014年1月 第89巻11号 ～第90巻1号	『自治研究』第一法 規	3回連載 32-57頁 53-69頁 44-63頁	「自治体の人事に関する 研究—全国自治体の実態 調査結果を中心に」と題 し、実態調査の解析論文。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 「日本の第3セクター・公民連 携の現状と課題—自治体出資法 人を中心に—」	単著	2013年9月 13日 韓国建国大学	「国際交流学術研究 会」第3セクターと 韓国建国大学の共催	1-13頁	「日本の第3セクター・公 民連携の現状と課題」と題 し、第3セクター、NPO などについて論説。
8 その他 ① 専門誌 「使える自治体の財政分析」	単著	2013年4月号 ～2014年3 月号	『公明』公明党機関 紙委員会	各回2頁	地方財政に関する事項に ついて、各回2頁で図表と ポイント解説。長期連載。 2014年3月号で50回。
「第三者機関設け経営評価を」	単著	平成25年8 月23日号	「コミュニティし んぶん」	3面掲載 評論	自治体出資法人に対する 経営評価について第三者 機関設ける提言。
② 研究調査報告書 その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県公益認定等審議会 新潟県出資法人経営評価委員会 上越市指定管理者選定委員会 新潟県立武道館基本構想検討会議	H25年4月～H26年3月 H25年4月～H26年3月 H25年4月～H26年3月 H25年4月～H25年12 月	委員長代理 委員長 委員長 委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	教授 平松 緑				
1 専門分野、研究テーマ					
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『The study of herbal medicine effects on senescence accelerated mice 』	単 (46章)	2013年	Elsevier(発行所) The Senescence-Accelerated Mouse (SAM) Achievements and Future Direction (本の題目)	523-536	老化促進モデルマウスと漢方薬及び生薬の効果の総説、並びにこれからの期待
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 最上紅花の花弁による老化促進モデルマウスの記憶保持に関する研究(査読無)	共	2014年	東北公益文科大学 総合研究論集(第25号)	67-81	最上紅花の花弁は老化促進モデルマウスの記憶保持を延長することを認めた。 (平松緑, 高橋琴恵, 相磯剛宏, 及川彰)
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 学術講演 ・紅花と健康について	単	2013年12月8日	知の拠点庄内第3回 シンポジウム		最上紅花の機能性について講演した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	やまがた農産物安全・安心取組認証第1次申請に係る審査委員会	~H28年3月	副委員長
	山形県庄内地域保健医療協議会	H25年11月~h27年3月	委員
② その他 学会役職	日本てんかん学会 日本神経化学会 日本脳科学会 日本酸化ストレス学会 老化促進モデルマウス研究協議会 グアニジノ化合物研究	現在に至る 以下同じ	評議委員 評議委員 理事、評議委員 評議委員 評議委員 評議委員

<p>依頼講演</p> <p>身近な環境を守りしくみを考える —紅花を通じた私達の健康から</p> <p>庄内産最上紅花の若菜の取組について</p> <p>身近な環境を守るしくみを考える (紅花を通じた私達の健康から)</p> <p>紅花と健康について</p>	<p>会 日本ポリフェノール学 会</p> <p>港南学区コミュニティ 振興会</p> <p>山形大学農学部おしゃ べりな畑</p> <p>酒田市市街地コミュニ ティ振興会連絡協議会</p> <p>秋田県三種長観光協会</p>	<p>H26年2月6日</p> <p>H26年1月14日</p> <p>H25年11月15日</p> <p>H25年11月21日</p>	<p>理事</p> <p>最上紅花の効能について講 演した。</p> <p>最上紅花の若菜の普及につ いて講演をした。</p> <p>紅花の効能について講演を した。</p> <p>同上</p>
--	---	--	---

職位 氏 名	教授 國眼眞理子				
1 専門分野、研究テーマ	教育心理学、青年心理学、キャリア心理学				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概 要
7 学会発表					
①「キャリア発達・教育に関する研究（XⅢ）—中学生の人生観および職業観—」	共著	2013	日本教育心理学会 第55回総会 発表論文集	p. 354	中学生の職場体験学習の事前学習の一環として、キャリア選択に影響を及ぼす「人生観」「職業観」をカードソート法により明らかにした。
②「キャリア発達・教育に関する研究（XⅣ）—長期にわたる実習経験が職業意識形成に与える影響—」	共著	2013	日本教育心理学会 第55回総会 発表論文集	p. 355	医療家資格取得の要件である長期にわたる実習が職業能力に対する意識や職業的同一性の形成にいかなる影響を与えるのかを検証した。
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書 「平成25年度大学まちづくり政策形成事業 ～酒田市における家庭教育支援に関する調査研究～」報告書	共著	2014. 3		p. 5, 6 p. 27 ～34 p. 68 ～72	調査研究の目的、調査研究に関わる活動 子育て支援に関するヒアリング調査およびその結果 次年度の調査研究に向けて
③ その他					
1)「赤ちゃんは語学の天才」	単著	平成25年4月 (2013)～ 平成25年3月 (2014)	「私の街さかた」 酒田市広報誌コラム 『酒田っすくすく』	600 字/回	周囲の大人の丁寧な語りかけをヒントに赤ちゃんは自分の力で言葉を獲得する
2)「コミュニケーション力を育てる」					「ひとこと言い」を許容して いてはコミュニケーションの 意欲は育たない。あえて問い 直そう
3)「子育て応援団」					みんなで子育て。子どもは自 分の気持ちを表現してくれる 人が好き。母親とは限らない
4)「困った口癖」					おとなは、子どもが駄目なこ とをしているとき困ったこと をしているときに注目しが ち。いいときほど注目しよう
5)「人見知り」					人見知りは順調な発達のバロ メーター
6)「知らない人についてい ゃいけないよ」					4,5歳ごろは、ことばの表面 的な理解はできても、場面に 即してあるいはついていった

<p>7) 「情けは人のためならず」</p> <p>8) 「親という『仕事』」</p> <p>9) 「ハイタッチの効用」</p> <p>10) 「3,4 歳ころの心の世界」</p> <p>11) 「お母さんへのご褒美」</p> <p>12) 「手のひらというぬくもり」</p>				<p>ときその後どのようなことがあるのか想像する力は不足している。具体的に教えよう。</p> <p>5, 6 歳児の親切行動の波及効果。親切にするとそれを見ていた子から親切を受け取る親という仕事には「匂」があること。子どもが愛されているという実感を持つためには、親が子どもの目線になって肌を合わせる経験が必要。それを与えることこそ親の「仕事」なのではないか。</p> <p>子どもの行動を誘うとき、口頭で「～しなさい」よりも非言語的なハイタッチを活用しよう。</p> <p>3, 4 歳ころの言葉の発達と心の世界</p> <p>お母さんにも自分ひとりの時間を。罪悪感を感じなくていい。</p> <p>やる気を育てるのは子どもが感じられるぬくもり。言葉よりも手のひらの効用</p>
--	--	--	--	---

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 市町村の委員会			
1. 酒田市教育委員会	酒田市教育委員会	H25年11月～現在	教育委員
2. 酒田っ子すくすく育成会議	酒田市	H25年4月～現在	委員
3. 酒田市スクール・カウンセラー	酒田市教育委員会	H25年4月～現在	スクールカウンセラー
4. 山形県産業教育審議会	山形県教育庁	H25年4月～現在	委員
5. 酒田市立第4中学校	酒田市教育委員会	H25年4月～11月	学校評議員
②その他			
<学会関係>			
1. 日本キャリア教育学会		H22年11月～現在	理事
<教育機関関係>			
1. 酒田市立看護専門学校	講義 (「人間関係論」)	H25年4月～9月	非常勤講師
2. 酒田市立第一中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H25年5月24日、31日	講師
3. 酒田市立飛鳥中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H25年6月9日27日	講師
4. 酒田市立鳥海八幡中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H25年11月26日	講師
5. 酒田市立内郷小学校	P T A研修会	H25年9月28日	講師
6. 酒田市立宮野浦小学校	家庭教育セミナー	H25年9月27日	講師
7. 山形県高等学校初任者研修	山形県教育センター (キャリア教育)	H25年10月16日	講師
8. 酒田市立富士見小学校	構成的グループエンカウンター実践支援	①H25年10月8日、17日 ②H26年1月30日	助言者
9. 庄内町立余目第2小学校P T A 研修会	庄内町立余目第2小学校	H25年12月14日	講師
10. 山形県立酒田西高等学校	キャリア教育研修	H25年12月18日	講師
11. 山形県立楯岡高等学校	キャリア教育研修	H26年2月19日	講師
<教育委員会・教育センターなど>			
1. 酒田市不登校保護者会 (年3回)	酒田市教育委員会	①H25年6月6日 ②H25年10月3日 ③H26年1月23日	講師 講師
2. 幼保小指導者研修会	酒田市子育て支援課	H25年6月18日	講師
3. 山形県庄内総合支庁	公益教育セミナー	H25年10月11日	講師

<p><その他の教育機関・施設></p>			
1. 酒田市シルバー人材センター	傾聴講座	H25年7月26日	講師
2. 酒田市シルバー人材センター	子育て支援ヘルパー講座	H25年11月20日	講師
3. 山形県民シンポジウム in 庄内	山形大学	H25年11月30日	パネリスト
4. 酒田市PTA連合会第2回母親委員会会議	酒田市PTA連合会	H25年12月3日	講師
5. 酒田市健康福祉部健康福祉課	心の健康づくり教室	①H26年2月14日 ②H26年2月15日	講師
6. 第62回西村山地区学校保健大会	山形県村山教育事務所	H26年2月12日	講師
<p><看護・福祉関係></p>			
1. 国立精神・神経センター 武蔵病院	リーダーシップ研修	①H25年5月20日 ②H25年10月28日	講師
2. 東京大学医学部付属病院	実習指導者研修	H25年7月29日	講師
3. 国立国際医療センター 国府台病院	リーダーシップ研修	H25年9月30日	講師

職位 氏 名	教授 伊藤眞知子				
1 専門分野、研究テーマ	社会学、女性学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他					
① 専門誌 「心の傷を癒すということ」 『東北公益文科大学総合研究論集』第24号	単	平成25年9月	東北公益文科大学	i - ii	東日本大震災から2年、被災経験による心の傷つきのケアは専門家だけでなく、だれもが「聴く」存在になりできることであることを論じた。
② 研究調査報告書 『平成25年度大学まちづくり政策形成事業～酒田市における家庭教育支援に関する調査研究～』	共	平成26年3月	東北公益文科大学	8-13, 66	現代の家庭教育・家族について、社会学の観点から家庭教育の意味の変容、家族と子育てをめぐる現状について整理した。
③ その他 「仕事と家庭あなたは充実していますか?」『広報しようない』	単	平成26年3月5日	庄内町	17	ワーク・ライフ・バランスについて、生活時間調査のデータを用いて解説した。
『平成22年度～平成25年度庄内地域子育て応援協議会報告書』	共	平成26年3月	庄内地域子育て応援協議会	はじめに、4-5	庄内地域の子育て情報を一元的に提供するwebサイト「TOMONI」の立ち上げ運営してきた協議会のあゆみとその意義を概説した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県総合政策審議会	H25年4月～H27年3月	委員
	山形県男女共同参画審議会	H24年12月～H26年10月	会長
	山形県高齢者虐待防止県民会議	H26年1月～H28年12月	副会長
	酒田市男女共同参画推進後期計画に係るアドバイザー	H25年4月～H26年3月	アドバイザー
② その他 (委員等)	庄内町男女共同参画社会推進アドバイザー	H25年4月～H26年3月	アドバイザー
	庄内町情報発信研究所	H25年4月～H26年3月	特別研究員
	山形労働局	H25年4月～H27年3月	労働紛争担当参与
	山形地方労働審議会	H25年10月～H27年9月	会長

〈講演等〉	山形地方労働審議会労働災害防止部会 宇都宮大学地（知）の拠点整備事業外部評価 会議 酒田市立酒田看護専門学校	H25年10月～H27年9月 H26年2月～H28年3月	委員 外部評価委員
	特別非営利活動法人あらた 社会福祉法人光風会 生涯学習施設「里仁館」 生涯学習施設「里仁館」運営委員会 みやぎ・やまがた女性交流機構 庄内地域子育て応援協議会 庄内こどもプロジェクト明日のたね 第63次教育研究山形県集会14分科会	H25年4月～H25年9月 H25年6月～H27年5月 H24年7月～H26年7月 H24年4月～H26年3月 H24年4月～H26年3月 H21年8月～ H22年7月～ H25年4月～ H25年7月15日～H25年11 月9日	非常勤講師「家族関 係論」 理事 理事 常任理事 委員長 理事 会長 代表 研究協力者
	庄内町「椿げみなーる」第1回	H25年6月8日	講師
	第67回山形県教職員組合女性部定期大会講演	H25年6月22日	講師
	平成25年度岩手県立水沢高等学校第1回SSH 特別講義	H25年6月24日	講師
	ボランティア「ほほ笑みの会」発会記念講演	H25年6月28日	講師
	庄内地域子育て応援協議会「再就職準備講座」	H25年6月19日、7月19日、9 月18日	講師 講師
	平成25年度山形県老人保健施設大会講演	H25年9月6日	講師
	酒田市市民大学講座	H25年9月11日	講師
	連合山形「2013山形県男女共生集会」	H25年10月21日	講師
	酒田市市民大学講座出前講座	H25年11月12日	講師
	酒田市シルバー人材センター「子育て支援ヘル パー講習」	H25年11月22日	講師
	新庄市「生き活きモガジョ養成講座」	H25年11月23日	講師
庄内町「椿げみなーる」第7回	H25年12月7日	講師	
山形県庄内発！いのちとこころを考えるつどい	H26年3月1日	ファシリテーター	
連合山形酒田飽海地域協議会「労働講座」	H26年3月14日	講師	

職位 氏 名	特任教授 高谷時彦				
1 専門分野、研究テーマ	建築・都市デザイン				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 日本建築学会作品選奨受賞 「鶴岡まちなかキネマ」		2013. 8	日本建築学会 『建築雑誌 127』	pp	2013 年度の日本建築学会 作品選奨受賞作品として 建築雑誌に掲載された。
4 研究ノート 「まちを元気にする活動拠 点『鶴岡まちなかキネマ』」	単	2013. 9	日本建築学会 『建築雑誌 128』	pp	まちなかキネマについて、 地域活性化の観点からそ の意義や可能性を論述し た。
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 「鶴岡まちなかキネマ」	単	2013. 9	日本建築学会大会 (札幌)		日本建築学会作品選奨受 賞作品としてパネル展示
8 その他 ① 専門誌 「鞘堂建築を逆のプロセス でつくる」 「歴史的文脈を生かした地 域風景の再生」 ② 研究調査報告書 ③講演、レクチャー、対談 「和洋折衷住宅を巡って」 「まちなかキネマの意義」 「鶴岡での歴史的な文脈を生 かした風景再生」 「鶴岡の建築」 「まちづくりと福祉施設」 「愉しきかな 1930 年代」 「歴史的建造物を活用した まちづくり」	単 単	2013. 4 2013. 6 2013. 8 2013. 8 2013. 11 2013. 11 2013. 12 2014. 2 2014. 3	彰国社 『ディテール 196』 都市計画協会 『新都市 No6, 167』 山王まちや再生 市民ワークショップ 東大小林真理子ゼミ 立教大学ゲストスピ ーカー 土蔵サロニールナ 社会福祉法人一幸会 内川学5基調講演 酒田ローズの会	Pp83-85 pp	全国的に注目されている、 大学、市民、行政が協働す る鶴岡のまちづくり活動 を地域風景の再生という 視点で報告した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の 委員会	山形県都市計画審議会	2013 年度	会長
	鶴岡市住生活基本計画委員会	2013 年度	委員長
	鶴岡市つるおか住宅選定委員会	2013 年度	委員長
	鶴岡市総合計画社会基盤委員会	2013 年度	座長
	鶴岡市創造文化都市食文化委員会	2013 年度	委員
	鶴岡市歴史的風致維持向上計画協議会	2013 年度	委員
	鶴岡市景観審議会	2013 年度	委員
	酒田市重要文化的景観検討委員会	2013 年度	委員

② その他	府中建築文化フォーラム地域デザイン学校 鶴岡市商店街活性化シンポジウム 鶴岡市資源活用の家づくりシンポジウム	2013年度 2013.3 2014.3	幹事 モデレーター モデレーター
-------	--	----------------------------	------------------------

職位 氏 名	遠山茂樹				
1 専門分野、研究テーマ	イギリス中世史、中世イングランドにおけるフォレスト				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 世界遺産と社会科教育－世界 遺産の教材開発に向けて－ (査読なし)	共著	平成 25 年 9 月	『東北公益文科大学 総合研究論集』24 号	13 ～ 80 頁	世界遺産を素材とした社 会科の授業・教材の開発 をめざし、その基礎的作 業をおこなった。小川寛 由氏との共著。
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市景観審議会	H25 年 4 月～H27 年 3 月	会長
	酒田市美術館理事	H25 年 4 月～H27 年 3 月	理事
	酒田市図書館協議会委員	H25 年 4 月～H27 年 3 月	委員
	鶴岡中央高等学校評議員	H25 年 4 月～H27 年 3 月	評議員
② その他	NHK 文化センター (庄内 教室) 講師	H25 年 7 月～H27 年 9 月	講師

職位 氏 名	山家公雄				
1 専門分野、研究テーマ	エネルギー				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『再生可能エネルギーの真 実』	単著	2013年	エネルギーフォーラ ム	375頁	再生可能エネルギーを網 羅的に解説
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 『社会・環境変化と再生可能エ ネルギーおよびエネルギーシス テムへの影響』(査読有)	単著	2013/9	国際交通安全学会	9頁	エネルギー環境の変化とモ ビリティ等に及ぼす影響
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 *日経BP オンラインに連載 「エネルギー世界の新潮流」	単著	2014～2015年 度	日経ビジネス	7頁/回 程度	13年度は13回連載

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	*山形県総合政策審議会	2013～2014年度	委員
② その他	*食料・農業・農村政策審議会 企画部会地球環境小委員会 *地球温暖化防止とサンゴ礁 保全に関する国際会議(環境 省・沖縄県主催)	2011年度～2014年度 2013/6	委員 パネリスト

職位 氏 名	教授 森 彰夫				
1 専門分野、研究テーマ	国際関係論、国際協力論、多文化共生論				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『オルタナティブ国際関係論－ 国際機構と国際協力の改革へ向 けて－』	単著	平成 23 年 11 月	彩流社	総 頁 数 229	第 1 章 国際関係の理論、 第 2 章 安全保障、第 3 章 軍備管理・軍縮・不拡散の 諸課題、第 4 章 地域紛 争、第 5 章 人権・人道の 諸問題、第 6 章 国際通貨 金融、第 7 章 世界金融経 済危機、第 8 章 開発援 助、第 9 章 貧困国の重債 務問題、第 10 章 社会開 発、第 11 章 国際貿易の 現代的課題、第 12 章 地 域経済統合、第 13 章 地 球環境問題、第 14 章 グ ローバリゼーション
3 学術論文 ※(査読付論 文の区別) 「地方自治体への国際協力から の教訓－地域課題の解決に向け て－」 (査読なし)	単著	平成 26 年 2 月	『東北公益文科大学 総合研究論集』第 25 号	pp. 83-103.	国際協力の経験から、地方 の衰退や人口減少が著し い東北地方の地方自治体 への教訓をまとめた。公共 財がすべての人に供給さ れている社会が公益社会 であり、新自由主義的な市 場至上主義政策によって 格差拡大や一極集中がも たらされてきているなか で、対症的な対策とと もにヨーロッパ諸国のよ うに福祉国家への政策や システムの転換を求めて いく必要があることを論 じた。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書					

<p>③ その他 「山形県への国際協力からの教訓」</p>	<p>単</p>	<p>平成 25 年 6 月</p>	<p>東北公益文科大学イブニングカフェ</p>	<p>国際協力の経験から、地方の衰退や人口減少が著しい東北地方の地方自治体への教訓をまとめた。公共財がすべての人に供給されている社会が公益社会であり、新自由主義的な市場至上主義政策によって格差拡大や一極集中がもたらされてきているなかで、対症的な対策とともにヨーロッパ諸国のように福祉国家への政策やシステムの転換を求めていく必要があることを論じた。</p>
-----------------------------------	----------	--------------------	-------------------------	---

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他	<p>国連 UNHCR 協会 ヒューマン・シネマ・フェスティバル</p>	<p>平成 25 年 10 月</p>	<p>ゲストスピーカー</p>

職位氏名	教授 水田健輔				
1 専門分野、研究テーマ	公会計、高等教育財政、公的部門の経営				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『シリーズ大学 第3巻 大学とコスト－誰がどう支えるのか』	共著	2013年5月	岩波書店	33頁	著者 阪本崇、丸山文裕、 <u>水田健輔</u> 、小林雅之、上山隆大、矢野眞和 執筆担当：第3章 大学財政の日本の特質 (P77～109) 概要：日本における政府から大学への財源配分額の規模や変動、配分方法の内容、その社会的、政策体背景を、アメリカ、イギリス、オーストラリア、フランス、韓国の5カ国と比較し、日本の特性を明らかにした。
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) 1 教育財政の資金配分の在り方に関する考察－教育段階を超えた視点も考慮して－ (査読なし)	共著	2014年2月	RIETI ディスカッション・ペーパー (独立行政法人経済産業研究所), No.14-J-009, 97頁 http://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/14j009.pdf	13頁	分担執筆者 赤井伸郎, 妹尾渉, 末富芳, <u>水田健輔</u> 概要 独立行政法人経済産業研究所におけるプロジェクト「財政的な統一視点 (財政制約下の最適資源配分) からみた教育財政ガバナンス・システムの構築」 (2011-13年度・代表者:赤井伸郎)の最終成果論文。水田は「第6章 ミクロ的な視点からの効果分析 2: 高等教育に対する公財政負担の在り方」(P79-91)を担当し、国立大学に

					対する政府からの研究資金配分とその成果に関する実証分析結果を発表している。
4 研究ノート なし					
5 資(史)料 なし					
6 翻訳 なし					
7 学会発表 1 財務情報から見た 国立大学法人の経 営・管理の推移	単独	2013年5 月25日	日本高等教育学会第16回大会(会場:広島大学)		概要 2004年に法人化されて以降の国立大学のマネジメントの変化を財務情報、特に業務費及び一般管理費の構成の変化から検証した。特に2009年度までの第一期中期目標期間で経験したことが、2010年度以降の第二期のマネジメントに活かされているかどうかに着目した。
2 地方自治体のキャ ッシュ・フロー計算書 からみた資金調達・投 資意思決定	単独	2013年8 月23日	国際公会計学会第16回全国大会(会場:西南学院大学)		概要 地方自治体が総務省方式改訂モデルで作成しているキャッシュ・フロー計算書について、その作成意義、収支の表示区分を予算科目から変更する利点、企業会計における同計算書との異同、既存の財政分析指標との関係と新しい分析方法の提案について発表を行った。
8 その他 ① 専門誌 1 国立大学収支の現 状	単著	2013年 11月	IDE 現代の高等教育 (IDE 大学協会), 2013年11月号, 第555号	7頁	概要 国立大学が法人化された2004年度以降の収入構成と支出構成、およびその細目の増減について考察を加え、2009年度までの第一期中期目標期間における極端に慎重な支出統制を明らかにし、

<p>② 研究調査報告書</p> <p>1 平成 25 年度版 国立大学の財務</p> <p>③ その他</p> <p>1 招待講演『高等教育におけるガバナンス研究のフレームワーク』</p> <p>2 討論者・福井文威発表『米国の高等教育における寄付の歴史』</p> <p>3 討論者・須原三樹発表『公立大学の費用効率と法人化の影響』</p>	単著	2013年3月	独立行政法人国立大学財務・経営センター（施設費貸付・交付事業に係る各種調査の指導助言の一環）	全 体 頁：73 頁	2010年度からの第二期中期目標期間におけるそうした姿勢の改善を指摘した。
	単独	2013年12月6-7日	広島大学高等教育研究開発センター主催・第41回研究員集会		概要 高等教育機関のガバナンスを組織論の視点から研究する際の理論的背景と適用事例を発表。
	単独	2014年1月12日	2013年度日本高等教育学会・研究交流集会		概要 東京大学大学院・日本学術振興会特別研究員・福井文威氏の発表に対する討論者の責を果たした。
	単独	2013年5月18日	日本地方財政学会第21回大会		概要 大阪大学大学院・日本学術振興会特別研究員・須原三樹氏の発表に対する討論者の責を果たした。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会 なし			
② その他	1 日本高等教育学会紀要編集委員会	H23年8月～継続中	委員
	2 広島大学高等教育研究開発センター	H24年4月～継続中	客員教授
	3 大学共同利用機関法人人間文化研究機構評価委員会	H23年6月～継続中	委員
	4 社団法人日本私立大学連盟インテリジェンスセンター「広報・情報部門会議(調査)」	H23年9月～継続中	委員

	5 文部科学省「国立大学等施設の総合的なマネジメントに関する検討会」	H25年10月～継続中	委員
	6 酒田エフエム放送番組審議委員会	H25年10月～継続中	委員
	7 経済産業研究所「財政的な統一視点からみた教育財政ガバナンス・システムの構築」プロジェクト	H23年11月～H25年8月	研究メンバー
	8 秋田県自治研修所「公会計研修」	H25年10月31日～11月1日	講師
	9 香川県自治研修所「公会計研修」	H25年11月28-29日	講師

職位 氏 名	教授 温井 亨				
1 専門分野、研究テーマ	建築、まちづくり・むらづくり、風景計画				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文					
4 研究ノート					
5 資(史)料					
6 翻訳					
7 学会発表					
8 その他					
① 専門誌					
● 普通のまちが目指す観光まちづくり - 山形の事例から -	単著	2013年11月	ランドスケープ研究 Vol. 77、No. 3 日本造園学会	2	東北支部の活動報告
● 支部活動をどう広げるか	単著	2014年1月	ランドスケープ研究 Vol. 77、No. 4 日本造園学会	2	
② 研究調査報告書					
● 平成25年度酒田市大学まちづくり地域政策形成事業「酒田市升田区の地域活性化に関する調査研究」報告書	単著	2014年2月	東北公益文科大学	53	受託研究の報告書
● 酒田市まちづくり人材連携強化事業報告書	単著	2014年3月	東北公益文科大学	63	受託研究の報告書
● 里浜集落の住宅	単著	2014年5月	平成25年度宮戸・野蒜地域の文化遺産の再生・活用検討事業報告書(仮)	7	
③ その他					
● 庄内町地域活性化アドバイザー事業報告書	単著	2014年4月	温井亨	?	庄内町地域活性化アドバイザーとしての活動報告
● 提言酒田の中心市街地再生1～6	単著	2013年6月～9月	庄内日報		
● 現在の暮らしの中に生きるものとしての歴史 - 「絵図面の世界～江戸期の庄内・酒田～」に際して思うこと	単著	2014年2月	酒田市図書館報「光丘」144号		

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 庄内町中心市街地まちづくり協議会 ● 庄内町振興審議会 ● 酒田市中心市街地活性化協議会 ● 酒田市中心市街地まちづくり協議会 ● 宮城県文化財保護審議会松島部会 ● 東松島市特別名勝松島保存管理検討委員 	<ul style="list-style-type: none"> H23年8月～ H24年2月～ H25年2月～ H24年8月～ H25年4月～ H25年4月～ 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー 会長 委員 受託研究者 委員 委員

	会		
② その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 庄内町地域活性化アドバイザー ● 山形県立庄内総合高等学校学校評議員 ● 山形県立庄内総合高等学校学校関係者評価委員 ● 農水省東北農政局豊かなむらづくり審査会 ● 農水省東北農政局国営村山北部土地改良区事業 ● 日本造園学会 ● 日本造園学会東北支部 ● 日本造園学会ランドスケープ遺産イベントリー作成委員会 ● 日本造園学会企画委員会 ● 日本造園学会 CPD 推進委員会 ● 日本造園学会 CPD 企画委員会 ● 日本造園学会ランドスケープ研究校閲委員 ● 庄内銀行庄内価値開発研究会 ● 湊町さかた探検隊 ● 酒田市教育研究所「総合的な学習の時間」研究研修会 ● 酒田市民講座 ● 山形県まちづくりミーティング ● 山形県教育委員会庄内地域社会教育部会研修会 ● 連合飽海地協労働講座 ● 宮戸・野蒜地域の文化遺産の再生・活用指導委員会 ● 山形県茅葺き文化研究会 	<p>H22年5月～H26年3月</p> <p>H22年5月～</p> <p>H22年5月～</p> <p>H21年5月～H26年3月</p> <p>H25年5月～7月</p> <p>H25年5月～</p> <p>H23年10月～</p> <p>H23年11月～</p> <p>H25年5月～</p> <p>H25年5月～</p> <p>H25年5月～</p> <p>H23年9月～</p> <p>H25年5月～</p> <p>H25年10月</p> <p>H25年9月</p> <p>H25年7月</p> <p>H25年11月</p> <p>H26年3月</p> <p>H25年4月～</p> <p>H26年2月～</p>	<p>アドバイザー 評議員</p> <p>学校関係者評価委員</p> <p>委員</p> <p>専門技術者(農村環境)</p> <p>理事 支部長 委員</p> <p>委員 委員 委員 校閲委員</p> <p>メンバー 主宰者 講師</p> <p>講師 報告者 講師</p> <p>講師 委員</p> <p>会長</p>

職位 氏 名	教授 阿部公一				
1 専門分野、研究テーマ	社会保障論、公的年金論(公的年金政策史、年金教育)				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称) 「1965年改正以降の老齢年金における給付水準引上げの誘因—労使間の対立軸の視点から—」(査読無)	単著	平成25年4月	『日本年金学会誌』 第32号	A4版 32～41 頁	老齢年金における1965年改正以降の大幅な給付改善は、高度経済成長を理由としているものの、明らかに呼び水的な誘因となる事柄があった。本稿では、厚生年金の政策形成過程における労使間の対立軸に視点を置くことにより、給付水準引上げの誘因を考察した。労使間対立、特に日本経営者団体連盟(日経連)の抵抗による修正積立方式の選択と、その後の日経連による方針転換が誘因となったことを実証した。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市公民館運営審議会	平成27年5月31日まで	副委員長
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	教授 和田明子				
1 専門分野、研究テーマ	行政学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) NPM=「小さな政府」か?～ニュージーランドと日本の「政府の大きさ」に関する一考察	単著 (査読付)	2013年6月	日本ニュージーランド学会誌第20巻	pp. 3-41	
4 研究ノート カンタベリー地震の復興行政～2013年の動向を中心に	単著 (査読無)	2014年3月 (予定)	東北公益文科大学公益総合研究センター		
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 カンタベリー地震の復興プロセス～市民・行政の連携を中心に	共同発表	2013年10月	日本ニュージーランド学会(東北公益文科大学ニュージーランド研究プロジェクトとの合同研究会)		共同発表者: 武田真理子
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 国・県・市町村の委員会	総務省東北管区行政評価局政策評価懇談会	H17年6月～現在	委員
	総務省東北管区行政評価局山形行政評価事務所行政懇談会	H17年2月～現在	委員
	山形県防災会議	H25年2月～現在	委員
	山形県県立高校の将来の在り方検討委員会	H25年9月～現在	委員
	山形県政府調達苦情検討委員会	H22年6月～現在	委員
	山形県明るい選挙推進協議会	H20年5月～現在	委員
	酒田市行財政集中改革	H14年7月～現在	委員

	プラン推進委員会		
	酒田市教育委員会事務 の管理及び執行状況に 係る点検及び評価	H21年8月～現在	外部評価者
	酒田市情報公開・個人情報 保護審査会	H22年1月～H25年12月	委員
	新庄市市民評価	H22年9月～現在	行政評価アドバイザー
	庄内町行政改革推進委 員会	H17年12月～現在	委員
	庄内町教育委員会事務 の管理及び進行状況に 係る点検及び評価	H23年4月～現在	第二次外部評価者
	北上市政策評価委員会	H23年8月～現在	委員
	(財)土門拳記念館情報 公開審査会	H22年7月～現在	委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	教授 呉 尚浩				
1 専門分野、研究テーマ	公益学、環境社会学、地域づくり論、中山間・離島地域論、森林政策学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書 東北公益文科大学・奨励研究採 択「東日本大震災後の離島にお ける防災・減災体制のあり方に 関する研究—飛島における住民 主体の防災計画づくりに向けて —」	共 (伊藤眞 知子、澤邊 みさ子、小 関久恵、岸 本誠司)	2013年6月～ 2014年3月			
③ 小冊子					
④ 署名記事 【報告】第6回三島交流会「飛 島・栗島・佐渡、三島の連携を 考える」	単	2014年11月	『とびしま未来協議 会通信』第8号(2013 年11月15日号、 pp. 1-3)		
・【報告】安心・安全と離島のく らし「飛島の防災・減災・備蓄 体制の見直しに向けて—宮城県 田代島・網地島調査から」	単	2014年3月	『とびしま未来協議 会通信』第9号(2014 年3月25日号、 pp. 1-3)		
④ 紹介記事 ・「未来をつくる、飛島の今。」 (豊かな食の都庄内 地域づく りの新レシピ10)		2013年7月	『Cradle』Jul. -Aug. 2013, pp. 32-35		
・「とび魚だしプロジェクト」(庄 内の『いま』を見つめる庄内ト ピック16)		2013年7月	『Cradle』Jul. -Aug. 2013, p. 25		
・「TPPやB級グルメ - 公益大4 年生・公開で卒業論文発表会」		2014年2月	荘内日報(2月19日)		

<p>④ TV・ラジオ 信仰と人生（日本CGNTV・対談番組）</p> <p>FM たまん出演（伊是名島と飛島の交流について、沖縄県・糸満市）</p>		<p>2013年12月6日</p> <p>2013年9月</p>		
---	--	----------------------------------	--	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
<p>① 国の委員会</p> <p>② 県・市町村の委員会</p>	<p>出羽庄内公益の森づくりを考える会</p> <p>とびしま未来協議会</p> <p>山形海区漁業調整委員会</p> <p>山形県海岸漂着物対策推進協議会</p> <p>第6次山形県教育振興計画検討委員会</p> <p>広野地区農地整備事業推進協議会環境情報部会</p>	<p>H23年8月～</p> <p>H23年5月～</p> <p>H24年8月～H28年8月</p> <p>H25年4月～H26年3月</p> <p>H25年6月～H27年3月</p> <p>H24年4月～</p>	<p>会長</p> <p>事務局長</p> <p>委員</p> <p>副会長</p> <p>社会教育・スポーツ専門委員会・委員長</p> <p>委員</p>
<p>③ その他</p> <p>NPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会</p> <p>特定非営利活動法人パートナーシップオフィス</p> <p>庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会</p> <p>美しいやまがたの海プラットフォーム</p> <p>第13回飛島クリーンアップ実行委員会</p> <p>第6回粟島（新潟県）クリーンアップ実行委員会</p> <p>第9回飛島天保そば・ごどいも収穫祭実行委員会</p> <p>第7回三島交流会 in 飛島（佐渡・粟島・飛島）実行委員会</p> <p><u>（他大学・他校講師）</u> 山形県小国高等学校「地域文化学」</p>		<p>H25年4月～H27年3月</p> <p>H25年4月～H27年3月</p> <p>H25年4月～H26年3月</p> <p>H25年4月～H26年3月</p> <p>H25年3月～H25年5月</p> <p>H25年4月～H25年6月</p> <p>H25年5月～H25年9月</p> <p>H25年6月～H25年9月</p> <p>H25年5月～H25年11月</p>	<p>理事</p> <p>理事</p> <p>委員</p> <p>運営委員／協働事務局</p> <p>実行委員</p> <p>島外委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>講師（地域情報発信誌”Oguu” NO.6 作成）</p>

<u>(その他)</u> アイランダー2013		H25 年 11 月	とびしま未来協議会出展(池袋サンシャインシティ・文化会館/国土交通省離島振興課、(財)日本離島センター主催、教員・学生)
しまっくくりサミット2013		H25 年 11 月	全国離島振興協議会主催

職位 氏 名	准教授 佐野治				
1 専門分野、研究テーマ	社会福祉学、相談援助				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称) 長久手市地域福祉計画策定に向 けての市民意識調査報告	共著	2013	愛知県立大学教育福 祉学部社会福祉学科 発行「社会福祉研究」 第15巻	21-33	長久手市及び長久手市社 会福祉協議会による地域 福祉計画及び地域福祉活 動計画策定のための調査 報告及び課題等の提言を 行ったもの。
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	長久手市地域福祉計画 及び長久手市地域福祉 活動計画策定委員会	平成25年度-平成26年度	委員長
② その他		H 年 月~H 年 月	

職位 氏 名	准教授 澤邊みさ子				
1 専門分野、研究テーマ	障害者福祉、障害者雇用、社会福祉				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区 別) (名称)					
4 研究ノート 「酒田市における福祉協力 員の活動実態と課題～ひと り暮らし高齢者への見守り 活動の視点から～」	共 (武田真 理子・小 関久恵・ 照井孫 久・澤邊 みさ子)	2013年	東北公益文科大学 研究論集 第24号	pp. 81-100 (内、澤邊 担当は pp. 92-96)	山形県酒田市におけるひと り暮らし高齢者の見守 り活動の各担い手の活動 内容の実態と、担い手や地 域が抱える課題等を、ヒヤ リング調査、アンケート調 査によって把握すること を目的に行った、受託研究 「平成24年度酒田市大学 まちづくり政策形成事業」 の成果の一部をまとめた。 平成24年度は、民生委 員・児童委員に対するアン ケート調査を実施したが、 平成24年度は福祉協力員 を対象に調査を実施した。
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県介護保険審査会 酒田市障害者施策推進 協議会 鶴岡市障害者施策推進 協議会 庄内地域福祉有償運送 運営協議会 酒田市公益活動推進委 員会 鶴岡市総合計画審議会健 康福祉専門委員会	H25年4月～H28年3月 H24年7月～H26年6月 H24年4月～H26年3月 H24年4月～H25年3月 H24年4月～H26年3月 H25年7月～H26年3月	委員 委員 委員 構成員 委員長 委員

	山形県立特別支援学校 学校評議員	H25年4月～H26年3月	学校評議員
	酒田市立浜田小学校学 校協議員	H25年5月～H26年3月	学校評議員
② その他	酒田市立看護学校 鶴南ゼミ	H25年4月～H25年9月 H25年4月～H26年2月	非常勤講師 特別講師
	日本ニュージーランド 学会	H24年6月～H26年6月	監事
	日本公益学会理事	H25年4月～H26年3月	理事
	酒田市ボランティアセ ンター運営委員	H24年6月～H26年3月	委員長
	特定非営利活動法人あ らた	H25年4月～H27年3月	理事
	サポートセンターあお ぞら苦情解決委員会	H25年4月～H26年3月	委員
	庄内障害者就業・生活支 援センター苦情解決委 員会	H25年4月～H26年3月	委員
	社会福祉法人光風会苦 情解決第三者委員会	H25年4月～H26年3月	委員
	吹浦荘苦情解決委員会	H25年4月～H27年3月	委員
	社会福祉法人酒田市社 会福祉協議会苦情解決 第三者委員	H25年6月～H27年5月	委員
	協同集会 in 酒田	H25年5月18日	シンポジウム・コーディネ ーター
	(財)青少年国際交流推進 センター 青少年社会 活動コアリーダー育成 プログラム事前研修	H25年6月18日	講師
	酒田市市民大学講座	H25年9月25日	講師
	あらた介護職員初任者 研修(通信)	H25年9月29日	講師
	日本ニュージーランド学 会第67回研究会	H25年10月26日	司会
	生活困窮者問題シンポジ ウム	H25年11月16日	シンポジウム・コーディネ ーター
	庄内町ボランティア連絡 協議会創立5周年記念会	H25年11月25日	講師
	2010「地域生活支援セミ ナーIN庄内」	H25年11月28日	進行役

職位 氏 名	准教授 内藤 悟				
1 専門分野、研究テーマ	環境法、地方自治法				
	単・共 著の別	発行又 は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) ・資源開発における環境配慮(査読有)	単	2014年	自治研究90巻2号	23頁	
4 研究ノート					
5 資(史)料					
6 翻訳					
7 学会発表 岩石採取における環境配慮	単	2013年	第17回環境法政策学 会学術大会		
8 その他 ① 専門誌					
・条例による再生エネルギーの利活用	共	2013年	自治体法務NAVI56	4頁	
・条例による農的空間の管理 農地の 保全・活用に関する条例	共	2013年	自治体法務NAVI54	4頁	
9 社会貢献	委員会等名称		年 限	職務(委員/委員長等)	
① 県・市町村の委員会 ・山形県職業能力開発審議会委員 ・遊佐町条例策定検討委員会アドバイザー ・酒田市情報公開・個人情報保護審査会 ・酒田地区広域行政組合情報公開・個人 情報保護審査会				委員 委員会アドバイザー 委員 委員	
② その他 酒田市上級スタッフ職員研修(政策法務)				講師	

職位 氏 名	渡辺 暁雄				
1 専門分野、研究テーマ	社会学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ・「平成24年度庄内景観回廊・加茂地区活性化事業地域づくり推進業務」報告書 ・「まちづくりデザインスタジオⅡ 2012」 ③ その他 ・山形新聞連載「ことばの杜へ」 ・「遊びは仕事に優先するもの」	単 共 単 単	2014. 3 2013. 10 2013. 05, 18 07. 13 09. 07 11. 02 12. 28 2014. 03. 01 2914. 01. 01	鶴岡市 本学大学院 山形新聞 アミューズメントジ ャパン	15 頁 4 頁 毎回 900 字前後 4,000 字 (インタビ ュー)	本学委託業務 東北公益文科大学大学院 特別講座 旧温海高校再 生活用プロジェクトのま とめ 連載コラム 映画, 漫画, 歌謡曲などサ ブカルチャー作品の中で 用いられる様々なくこと ば>を社会学的に読み解 く。 娯楽業界誌でのインタビ ュー

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	・酒田市食育推進委員会 ・酒田市社会教育委員	H18年12月～ H21年5月～	委員長 委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	准教授 呉 衛峰				
1 専門分野、研究テーマ	比較文学 (平安時代の日中比較文学、近代における日中文化交流、翻訳研究)				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) 梵門と隠逸——『新撰万葉集』の歌と詩—— (※査読有り)	単	平成26年3月	『比較文学』第56巻 (日本比較文学会)	7-18	『新撰万葉集』研究の成果から出発し、古今集歌九五二における「巖の中」出典について探りながら、和と漢における梵門と隠逸という相互対応・相互補完の関係を考察するものである。
4 研究ノート 銭稻孫による日本小説の中国語訳——志賀直哉の『轉生』を中心に	単	平成26年2月	『東北公益文科大学総合研究論集』第25号	(1)-(8)	志賀直哉の『轉生』の中国語訳において、銭稻孫は「京話訳」、つまり北京方言 (日本の場合でいえば江戸弁に相当するか) で翻訳している。その文体的特徴と翻訳戦略を分析し、銭稻孫の翻訳思想を探る。
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 Elitism in the Chinese Translations of Waka	単	平成25年7月23日	ICLA(International Comparative Literature Association)XXth Congress, Paris-Sorbonne (Paris IV)		歴史的および社会政治的原因により、和歌の中国語訳は漢詩漢文で行われることが慣例となっている。それは和歌と漢詩訳の両方が理解できる日中の文化的エリートしか鑑賞できないものとなっているので、和歌を日本語で読めない一般の中国人読者のために、異文化の体験という視点から新しい訳し方が実践されるべきだと主張する。
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書					
③ その他					

職位 氏 名	教授 松田 憲				
1 専門分野、研究テーマ	応用言語学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区 別) (名称) 『Immediate Recall Protocol for Diagnostic Tests: An Investigation of Reading Comprehension of Japanese ESL Students』(査読有)	単著	2013年10月 31日	日本比較文化学会、 Studies in Comparative Culture No. 108	pp. 163-171	本論は、海外で第二 言語としての英語 (ESL)を学ぶ8名の 日本人英語学習者を 対象に、英文読解に おけるリコールテスト の妥当性と信頼性 を考察している。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市都市計画審議会	H25年12月~H27年12 月	委員
	鶴岡南高等学校(通信制) 学校評議員会	H25年5月~H26年3月	評議員
	鶴岡南高等学校(通信制) 学校関係者評価委員会	H25年5月~H26年3月	委員
② その他		H 年 月~H 年 月	

職位 氏 名	准教授 古山 隆				
1 専門分野、研究テーマ	資源工学、リサイクル工学 廃自動車シュレッダーダストの再資源化に関する研究				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』	な				
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)	単著	2013年5月22 日	自動車技術会春季大 会フォーラム「使用 済み自動車における 資源活用の現状と課 題」	p. 11-14	本稿では、自動車リサイク ル法第28条で認定され ているASRリサイクル施設 のリサイクル技術を分類 し、それらの状況を報告す るとともに、各リサイクル 施設の問題や課題につい て説明した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	・酒田市廃棄物減量等推進 審議会	H25年4月～H26年3月	委員
	・鶴岡市廃棄物減量等推進 審議会	H25年4月～H26年3月	委員
② その他	・資源・素材学会 ・自動車技術会リサイクル部会	H25年4月～H26年3月 H25年4月～H26年3月	編集幹事 幹事

職位 氏 名	准教授 松山 薫				
1 専門分野、研究テーマ	地理学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 「軍事都市の市長経歴にみる 「輸入」と「土着」—戦前期の呉 市を事例として—」	単	H25年5月19 日	第56回歴史地理学 会大会		広島県呉市を事例として、 戦前期の計12名の市長に ついて、その前歴と在任中 の主要業績、退職理由等を 調査し、横須賀、舞鶴など 他の軍港都市と比較した。 呉市は他の軍港都市と同 様、市長の出自に「土着(地 方名望家)」「輸入(軍人 系)」「輸入(内務省系)」 の3系統があり、かつ任期 を全うできた市長は少な い。一方、呉市の軍人出身 市長は初代—第3代(第 2・3代は同一人物)の2 名のみで、その後は地方名 望家と内務省系で占めら れること、在任期間が長い のはむしろ地方名望家市 長であることなどが、他の 軍港都市との相違点とし てあげられる。
「昭和初期における山形県庄内 地域の観光地形成とスキー場— 「善寶寺スキー場」を事例とし て—」	単	H25年11月9 日	2013年人文地理学会 大会		スキー場研究の大半は戦 後の事例を対象としてお り、戦前のスキー場の研究 は少ない。大正から昭和戦 前期にかけては、スキーが 各地に普及していく時期 であり、スキー場は重要な 観光資源と位置づけられ る一方で、単なる運動競技 場としてのみならず、学校 教育の場、さらにはいわゆ

					る戦技スキーの訓練場等、さまざまな役目を担わされてきた。本研究では、山形県庄内地域の、かつて多くのスキー客で賑わったという「善寶寺スキー場」を事例として、戦前期におけるローカルなスキー場の利用実態の一端を示した。また、このスキー場は戦後廃止され、記録自体が少ないため、当時の地元新聞、スキーや観光関係の雑誌等の記事やパンフレット、近隣小中学校の記念誌等を収集し、それらを整理・分析した。
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書					
③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県公共事業評価監視委員会	H24年4月～H26年3月	委員
	「若者のUターンに関する意見交換会・講演会」(山形県)	H26年1月24日	有識者
	遊佐町観光戦略会議	H25年6月～H26年3月	アドバイザー
② その他	平成25年度東北公益文科大学公益大イブニングカフェ 「「観光地」の記憶を掘り起こし記録する一鶴岡市の西郷、加茂、大山各旧町村域を中心にー」	H25年6月20日	講師

職位 氏 名	准教授 武田真理子				
1 専門分野、研究テーマ	社会政策、社会保障、福祉まちづくり（地域福祉）				
	単・共著の別	発行又は発表年	発行所、発表雑誌学会等の名称	担当頁数	概 要
2 著書 『世界の社会福祉年鑑 2013』	共（編集代表：宇佐美耕一、小谷眞男、後藤玲子、原島博）	2013年12月	旬報社	pp.267-280	第1部 各国社会福祉の現状 IIIオセアニア「ニュージーランド」を担当執筆。
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） 「ニュージーランド・カンタベリー地震における震災復興と社会保障」	単（依頼論文）	2014年6月（予定）	国立社会保障・人口問題研究所『海外社会保障研究』第187号		特集「大震災と社会保障」への投稿依頼論文として執筆したもの。
4 研究ノート 「酒田市における福祉協力員の活動実態と課題～ひとり暮らし高齢者への見守りの視点から～」	共（武田真理子・照井孫久・小関久恵・澤邊みさ子）	2013年9月	『東北公益文科大学総合研究論集』第24号	pp.81-100	平成24年度酒田市大学まちづくり政策形成事業として実施した酒田市福祉協力員を対象としたアンケート調査及びひとり暮らし高齢者の見守り活動の担い手に関する調査の結果をまとめた報告書の一部を掲載した。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 「カンタベリー地震の復興プロセス：市民・行政の連携を中心に」	共（和田明子との共同報告）	2013年10月26日	日本ニュージーランド学会第67回研究会		大東文化大学にて開催。
8 その他 ② 研究調査報告書 「酒田市における家庭教育支援に関する調査研究」（平成25年度酒田市大学まちづくり政策形成事業報告書） ③ その他 「私たちが安心して暮らし続けられる庄内地域を目指し	共（國眼真理子・伊藤眞知子・渡辺暁雄・武田真理子・竹原孝太・小関久恵） 単	2014年3月 2013年12月	東北公益文科大学 山形県庄内総合支庁『高齢者見守り・	 pp. 2-3	「家庭教育」に関する論点を整理した上で、ヒアリング調査と資源調査に基づき酒田市の家庭教育支援の実態を整理し、その上で青森県弘前市における関係機関等へのヒアリング調査を行った結果を報告書としてまとめた。 平成23年度より山形県庄内総合支庁が実施した「高齢者見守り・支え合

て」			支え合い活動推進事業 モデル取組地区 活動事例集』		い活動推進事業」のアドバイザーとして監修を行った同報告書への寄稿文。
----	--	--	---------------------------	--	------------------------------------

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県立酒田光陵高等学校	H24年4月～H26年3月	評議員・評価委員 会長
	酒田市認可外保育施設審議会	H20年4月～H 年 月	
	酒田市子ども・子育て会議	H25年11月～H27年11月	会長
	「子育てするなら山形県」推進協議会	H24年2月～H26年1月	委員
	鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会	H25年3月～H27年3月	会長
	庄内地域高齢者見守り・支え合い活動推進会議	H25年4月～H26年3月	アドバイザー
	山形県議会個人情報保護運営審議会	H25年3月～H27年2月	委員
② その他	山形県 NPO 推進委員会	H25年8月～H27年7月	委員長
	山形県総合政策審議会土地利用部会	H25年7月～H27年4月	特別委員
	日本ニュージーランド学会	H22年6月～H 年 月	理事
	公益教育研究会	H17年9月～H 年 月	副会長
	山形県社会福祉協議会	H25年7月～H27年7月	監事
	社会福祉法人正覚会	H18年6月～H 年 月	監事
	社会福祉法人あすなろ福祉会	H24年8月～H26年8月	評議員
福祉サービス第三者評価事業評価機関運営・評価調査者	H17年12月～H 年 月	平成25年度2件の評価実施担当	
※講演については省略			

職位 氏 名	准教授 西村まどか				
1 専門分野、研究テーマ					
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 □ (査読付論文の区別) (名称) N = 6 conformal supergravity in three dimensions (査読付)	共著	2013	JHEP 10 (2013) 123	16 pages	Bagger-Lambert-Gustavsson 理論を 3 次元 N=8 のオフシェル共形超重力理論背景に結合させた。共形超重力理論の多重項の局所変換則は 4 次元 N=8 SO(8) のゲージ化された超重力理論のものと同一である。結合理論において完全なラグランジアン と局所対称性を求めた。応用として平坦な背景におけるスーパーカレント多重項も求めた。
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
1 県・市町村の委員会	ものづくり運営委員会	H24 年 4 月～H 25 年 3 月	委員
2 その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	准教授 鎌田剛				
1 専門分野、研究テーマ	知識経営、医療経営、福祉経営、ソーシャルワーク				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他	鶴岡市居宅介護支援センター主任介護支援専門員研修会「スーパービジョン」	H25年6月27日	講師
③	山形県老人福祉施設協議会研修「スーパービジョン、施設ケアマネジメントの科学」	H25年10月17日	講師
④	鶴岡市居宅介護支援事業所主任介護支援専門員研修会「ケアプラン点検」	H25年11月25日	講師
⑤	鶴岡市「地域リーダー養成研修」	H25年12月13日	講師
⑥	ローズの会講演「地 (知) の拠点整備事業について」	H26年2月4日	講師
⑦	鶴岡市倫理法人会モーニングセミナー「地域と大学による人材育成」	H26年2月5日	講師
⑧	鶴岡市居宅介護支援センター主任介護支援専門員研修会「事例検討」	H26年2月17日	講師
⑨	山形県社会福祉士会専門研修「実践研究の方法」	H26年3月1日	講師
⑩	山形県医療ソーシャルワーカー協会研修「研究発表、スーパービジョン」	H26年3月15日	講師

職位 氏 名	准教授 神田直弥				
1 専門分野、研究テーマ	人間工学、交通心理学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 自転車運転時におけるレインコ ート着用の影響	単	2014	日本人間工学会東北 支部研究会	11 頁	自転車運転中のレインコ ート着用が自発的な後方 確認の減少や後方確認時 における対象物の発見後 れや見落としを増大させ ること、フード形状を工夫 することでパフォーマンス 低下の軽減が図れるこ とを確認した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市地域公共交通会 議	H24~	委員
② その他	山形県鶴岡南高等学校 SSH 運営指導委員会	H24.9~	委員

職位 氏 名	准教授 竹原幸太				
1 専門分野、研究テーマ	児童福祉・司法福祉・教育学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『ケアと人権』	共	2013年10月	成文堂	pp. 27-34	宿谷晃弘・宇田川光弘・河合正雄編著。2章「問題行動をめぐる生徒指導とケア」を担当。毅然とした対応による生徒指導の課題とクラス全体をケアしていく修復的実践について論じた。
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称) 「児童の権利」を軸とする総合的児童保護法構想の歴史的研究－菊池俊諦の児童保護思想に注目して(査読有)	単	2013年6月	『日本社会教育学会紀要』No49-2	pp. 23-32	戦前の児童保護事業における総合的児童保護法構想につき、菊池俊諦の児童保護思想に注目して論じた。本稿は科研費研究の一部として発表した。
対話と参加を基盤とする学校コミュニティ形成に見る道德教育への示唆－ジャスト・コミュニティと修復的実践のアメリカ教育史的考察を通じて	単	2014年2月	『東北公益文科大学総合研究論集』25	pp. 27-50	学校全体で子どもの対話と参加を志向する教育実践と道德教育との関連につき、アメリカのジャスト・コミュニティと修復的実践の比較から論じた。
少年法「改正」論議に見る子ども観・自律観の問題－非行克服過程における成長発達権	単	2014年3月	『日本教育法学会年報 教育の政治化と子ども・教師の危機』43号、有斐閣	pp. 157-158	少年法「改正」論議における子ども観・自律観の問題を指摘しつつ、成長発達権論の教育学的意義について論じた。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 少年教護事業における「児童の権利」擁護認識－菊池俊諦及びその同行者に注目して	単	2013年5月	第41回社会事業史学会(於淑徳大学)		菊池俊諦の同行者たちが教護事業において「児童の権利」をいかに受容し、説いたのかを考察した。とりわけ、森鏡寿、宗像守雄、

少年法「改正」論議に見る子ども観・自律観の問題－非行克服過程における成長発達権	単	2013年5月	日本教育法学会第43回総会（於早稲田大学）		石原登に注目して考察した。なお、本研究は科研費研究の成果報告の一部として報告した。 少年法「改正」論議の沿革をまとめ、そこでの子ども観・自律観の問題を指摘しつつ、成長発達権論の教育学的意義について報告した。
暴力予防に向けた学校コミュニティ形成としての修復的実践－IIRP 国際会議の議論から	単	2013年11月	日本教育法学会子ども安全研究会（於日本大学法科大学院）		修復的実践の国際会議（IIRP）の議論から、暴力予防に向けた学校コミュニティ形成についての動向を紹介し、いじめ予防への応用について報告した。
8 その他					
① 専門誌 ジャスト・コミュニティと修復的実践－対話と参加による学校の問題解決	単	2013年3月	『共生と修復』3号	pp. 11-13	ジャスト・コミュニティと修復的実践の構造比較から両者の共通点と類似点を明確化した。
いじめ・非行対策と子どもの立ち直り支援	単	2013年8月	『子ども白書2013』本の泉社	pp. 152-154	いじめ・非行対策の類似点を指摘しつつ、子どもの立ち直り支援を支える社会資源の開拓の必要性を論じた。
② 研究調査報告書 菊池俊諦の児童保護事業職員養成における「児童の権利」擁護認識に関する研究（科研費研究若手B）	単	2013年6月		A4版5p	菊池俊諦の児童保護事業職員養成における「児童の権利」擁護認識に関する研究の最終年度報告をまとめた。
平成25年度大学まちづくり政策形成事業－酒田市における家庭教育支援に関する調査研究（報告書）	共	2014年3月		pp. 13-26	平成25年度大学まちづくり政策形成事業1年次調査報告書。II.2「児童福祉サービスの展開と課題－2000年代を中心として」を執筆した。
③ その他 戦後児童福祉実践における「児童の権利」思想に関する研究（科研費若手B）	単	2013年4月			研究代表として、戦後児童福祉実践における「児童の権利」思想に関する研究（科研費若手B）が新規採択された。
いじめ防止対策推進法の成立と課題	単	2013年12月	公益教養プログラムForum21（於東北公益文科大学）		2013年6月成立のいじめ防止対策推進法の内容とその実践的課題について

					市民公開研究として報告した。
--	--	--	--	--	----------------

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	鶴岡市社会福祉協議会法人 後見委員会	2013年4月～2015年3 月	委員
	酒田市小・中学校区改編審 議会	2013年12月～2014年 12月	委員
② その他	庄内地区里親及び七窪思恩 園合同懇談会	2014年2月13日	助言者

職位 氏 名	講師 山本裕樹				
1 専門分野、研究テーマ	物理学、素粒子理論、インターネット望遠鏡				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称) 「 (査読無し)」 2	共著	2013年	arXiv:1311.3063	pp. 1-10	pion を含む核子有効理論 の 2 核子セクターに hybrid regularization を 導入してS波の位相のずれ を計算し、Nijmegen のデ ータによく合うことを示 した。
7 学会発表 (名称) 「いつでも・どこでも・だれで も天体観測」 「天体の光度測定 高校におけ る教育実践活動」3 「ソフト面の活動報告」	共同出展 単独、口頭 単独、口頭	2013年 2013年 2013年	サイエンスアゴラ 2013 (科学技術振興 機構) 第4回慶應義塾大学 インターネット望遠 鏡シンポジウム (慶 應義塾大学自然科学 センター) 第4回慶應義塾大学 インターネット望遠 鏡シンポジウム (慶 應義塾大学自然科学 センター)		鶴岡南高校と共同でブ ースを出展し、インターネッ ト望遠鏡とそれを利用し た取り組みについて紹介。 鶴岡南高校における鶴南 ゼミで行った変光星の光 度測定について報告。 インターネット望遠鏡の インターフェースのバー ジョンアップ点と今後の 展望を報告。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他 大学コンソーシアムやまがた 慶應義塾大学自然科学センター	企画会議	45 月 ~ 45 年 月 45 月 ~ 45 年 月	委員 共同研究員